



鞆の浦学園だより

No.12
2022年（令和4年）10月13日



頭から煙が出るほど考えた学園会の「幸せの道」

～ 自分達で自分達のためのルールを作ろう！ ～

先週、6年生の修学旅行が無事に終わりました。子ども達同士が助け合う素敵な場面がありました。これから本格的な秋、実り多き秋にしたいものです。



ところで、コロナ禍の中、3年目が経過しています。2年半前、全国の学校は2か月間の一斉臨時休校でした。当時の学園会では、学校再開にあたりこの学園をどんな学園にしたいか、みんなで意見を出し合いながら、「幸せの道」を作成しました。

学園会のメンバーは、自分のいのちや生活を守る新たなルールづくりのため、頭から煙が出るほど話し合いを重ねました。作られたルールを守るのではなく、自分達で自分達のためのルールを作ろうとしました。コロナの時代だからこそ、当たり前に行ってきたことを見直す絶好の機会でした。

「幸せの道」には、「三度目の休業はさせない！あたり前に手洗い、うがい」と書かれ、4点が示されています。「掃除」、「学習」、「心の健康」、「あいさつ」です。各学級では、これをもとに自分達でルールを考え、それを守る取組を続けてきました。

こうした考えは、タブレット端末が配布され「端末の使い方」ルールづくりにもつながっています。本年度も、各学級では「幸せの道」を考え、さらに「端末の使い方」も考えました。このルールづくりを通して、大切なことを学ぶことができます。

ルールを作ることが目的ではありません。自ら守れないこともあるかもしれません。守ろうとしない人を見ることもあるかもしれません。なぜ、「幸せの道」と名付けたのか、何のためにルールがあるのかを一緒に考え、自ら判断して行動できるようになりたい。

こうした取組を続けていることのご理解をいただき、ご家庭でも「幸せの道」、「端末の使い方」を話題にしてください。与えられたルールではなく、自分達でルールを作り守ろうとする力、さらにより良いものをめざす意欲と視点を持つ力も子ども達に育てたいものです。

ベトナムと日本のつながり、発見！！



ベトナムのフエ市から7名の方が視察に来られ、鞆の浦学園の全学年が縦割りで学ぶ「チャレンジタイム」の様子を参観されました。

子ども達は、事前にベトナムについて調べ、歓迎の気持ちをどう伝えたらよいか、どのように関わられるかを自分達で考え、楽しみながら準備を行ってきました。



琴の美しい音色を届けよう！

なでしこ太鼓の演奏を披露！



ペットボトルロケット、開発！



Enjoy Sports!
TOMO レクリエーション

みんなでボディパーカッション！



フェルト作家を目指せ！



書道でアートに挑戦！

鞆の魅力をプレゼント！



学園会と会談！

「チャレンジタイム」の中で一緒に活動をしたり、ベトナムの方と学園会の子ども達と感想を伝え合ったり、交流を楽しむ中で新たな発見がたくさんありました。この出会いが、日本の文化を改めて見つめ直し、異文化についてもっと知りたいという学びのきっかけになりました。